

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第4部門第1区分
 【発行日】令和6年4月10日(2024.4.10)

【国際公開番号】WO2022/185666
 【出願番号】特願2023-503392(P2023-503392)

【国際特許分類】

E 0 2 F 9/18(2006.01)

E 0 2 F 9/26(2006.01)

E 0 2 F 9/20(2006.01)

E 0 2 F 9/00(2006.01)

10

【F I】

E 0 2 F 9/18

E 0 2 F 9/26 B

E 0 2 F 9/20 H

E 0 2 F 9/00 Q

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月28日(2024.3.28)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

旋回部の旋回により旋回可能な本体部と、
 前記本体部の一端側に接続された作業装置と、
 前記本体部と前記作業装置との少なくとも一方を駆動する駆動システムと、
 前記作業装置の駆動により前記本体部に作用する偏荷重を補正する質量体と、を備え、
 前記質量体に前記駆動システムの少なくとも一部を保持させた建設機械。

30

【請求項2】

前記駆動システムはエンジンを有し、
 前記質量体は前記エンジンを保持している請求項1記載の建設機械。

【請求項3】

前記質量体は燃料を貯蔵する燃料タンクを保持しており、
前記駆動システムは、前記燃料タンクと、前記燃料タンクの残量に応じて、前記質量体を移動させる制御部と、を備えた請求項1または請求項2記載の建設機械。

【請求項4】

前記燃料タンクは温室効果ガスを排出しない燃料を貯蔵している請求項3記載の建設機械。

40

【請求項5】

前記駆動システムは電力を供給する発電機を有し、
 前記質量体は前記発電機を保持している請求項1から請求項4のいずれか一項に記載の建設機械。

【請求項6】

前記質量体は、前記作業装置の移動に応じて移動する請求項1から請求項5のいずれか一項に記載の建設機械。

【請求項7】

前記駆動システムで利用される燃料の漏れを検出する漏れ検出センサを備えた請求項1

50

から請求項 6 のいずれか一項に記載の建設機械。

【請求項 8】

前記漏れ検出センサは、気体状態の前記燃料を検出する請求項 7 記載の建設機械。

【請求項 9】

前記漏れ検出センサが前記燃料の漏れを検出した際に、前記質量体を前記本体部の外側に移動させる移動制御部を備えた請求項 7 または請求項 8 記載の建設機械。

【請求項 10】

前記質量体が移動することを報知する報知器を備えた請求項 1 から請求項 9 のいずれか一項に記載の建設機械。

【請求項 11】

前記本体部に設けられ、無人飛行体の離着陸が可能な離着陸部と、
一部が前記離着陸部に設けられ、前記無人飛行体に電力を供給する電力供給部と、
前記離着陸部に設けられ、前記電力供給部からのノイズを遮断する遮断部と、を備えた
請求項 1 から請求項 10 のいずれか一項に記載の建設機械。

10

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本第 1 発明に係る建設機械は、旋回部の旋回により旋回可能な本体部と、前記本体部の一端側に接続された作業装置と、前記本体部と前記作業装置との少なくとも一方を駆動する駆動システムと、前記作業装置の駆動により前記本体部に作用する偏荷重を補正する質量体と、を備え、前記質量体に前記駆動システムの少なくとも一部を保持させている。

20

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本第 1 発明によれば、質量体に前記駆動システムの少なくとも一部を保持させているので、レイアウトの自由度の高い建設機械を提供することができる。

30

40

50